

## 取組の概要

## 対象畜種

鶏

## 協議会構成員

佐久浅間農業協同組合、(有)ブラウンエッグファーム、  
県佐久地方事務所、県佐久農業改良普及センター

## 飼料用米生産面積

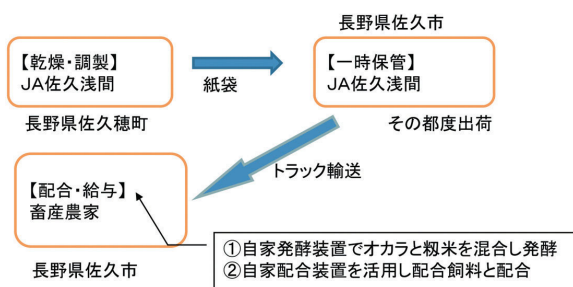
8.5ha

## 供試品種

あきたこまち 8.5ha

## 取組内容

## ①飼料用米の流通、保管、調製に係る実証調査



- ◆主食用米との区分を図るため、生産者は組織に限定した栽培。

②飼料用米の給与による家畜・畜産物への影響調査  
(畜産物の成分分析を含む)

試験設計：配合飼料に1%配合。

調査項目：嗜好性

&lt;参考&gt; 採卵鶏への飼料用米給与試験について

## ③飼料用米を利用した畜産物の普及活動

- ◆飼料用米解説のパンフレット作成  
(飼料用米給与のススメ)

- ◆飼料用米解説のパンフレット作成(飼料用米給与のススメ)
- ◆(有)ブラウンエッグファームが経営する直売所「ちゃたまや」にて卵を販売し、消費者の声を反映した生産活動と普及活動を行っている。

## 取組によってわかったこと

1. 調製・保管・流通について、次のことがわかりました。
  - 生産現場については、異品種混入防止のため、不特定多数の生産は難しいと思われます。
  - 畜産農家の購入希望価格と水稻農家の納入希望価格にギャップがあるため、米政策に基づく継続した助成金確保が必要と思われます。
2. 家畜・畜産物への影響について、次のことがわかりました。
  - 発育に目立った差はありませんでした。
  - エサとして嗜好性では、よく食べ、選別して残すことはありませんでした。
3. 普及活動について、次のことがわかりました。
  - 飼料用米を給与するという取組の意義(国産飼料であることや、水田の維持ができること等)から、食味(おいしいとの評価)に至る、全体の流れについて高い関心を得ています。
4. 今後の飼料用米の取組予定などについて
  - 本年度は昨年度より取り組みを拡大する予定です。

JA佐久浅間営農指導部 牧野

## 参考データ・写真等

